

〈平成22年（2010年）基準〉

I 調査結果の概要

1 概況

平成26年の農産物価格指数（平成22年を100とする。以下同じ。）の総合価格指数（以下「総合」という。）は102.2となり、前年に比べて0.6%低下した。

また、農業生産資材価格指数の総合は110.4となり、前年に比べて3.8%上昇した。

この結果、農業交易条件指数（農産物価格指数（総合）／農業生産資材価格指数（総合）×100）は92.6となり、前年に比べて4.1%低下した。

図1 農産物価指数の推移（平成22年=100）

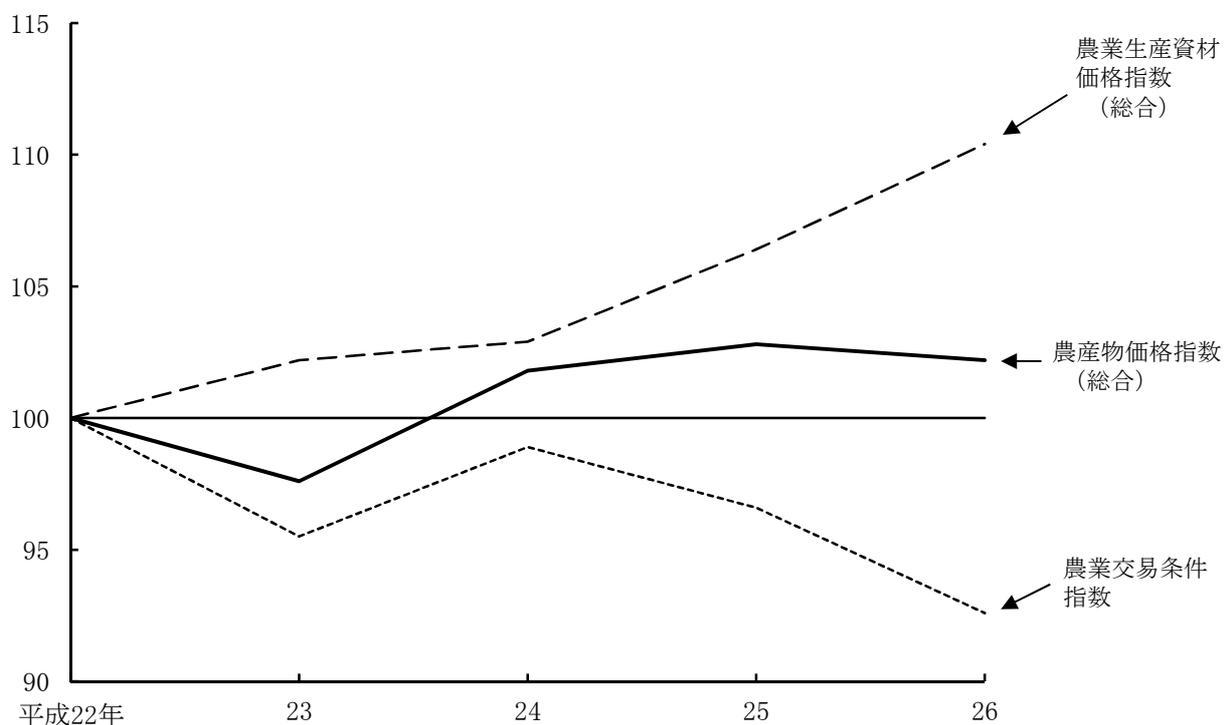


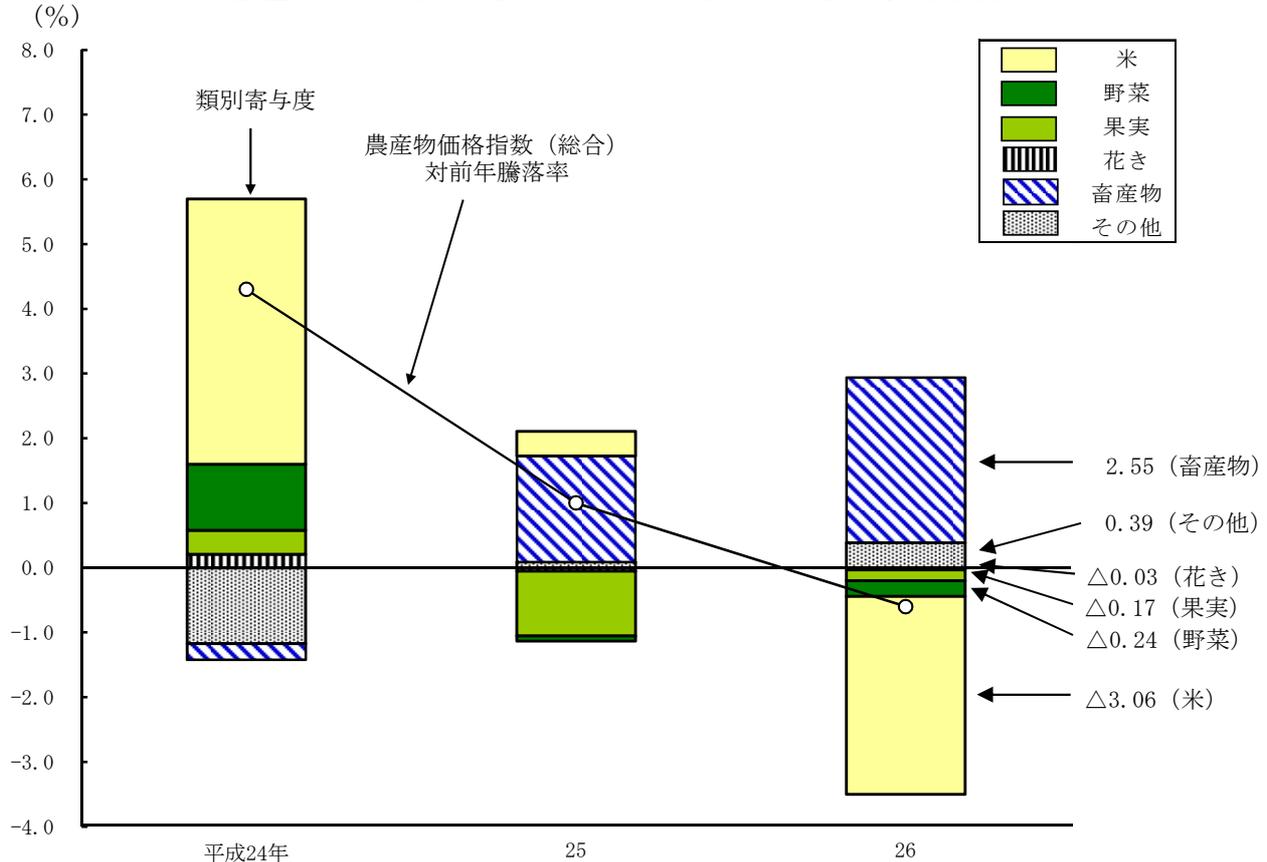
表1 農産物価指数の推移

区 分	平成22年=100					対前年 騰落率 (26/25)
	平成22年	23	24	25	26	
農産物価格指数（総合） ①	100.0	97.6	101.8	102.8	102.2	△ 0.6
農業生産資材価格指数（総合） ②	100.0	102.2	102.9	106.4	110.4	3.8
農業交易条件指数 ①/②×100	100.0	95.5	98.9	96.6	92.6	△ 4.1

2 農産物価格指数

平成26年の農産物価格指数（総合）は102.2となり、前年に比べて0.6%低下した。これは、畜産物の価格が上昇したものの、米等の価格が低下したことによる。

図2 農産物価格指数（総合）の対前年騰落率及び類別寄与度



注：1 類別寄与度とは、農産物価格指数（総合）の対前年騰落率に対して、各類別指数の変化がどの程度影響しているかを示す指標である。
 2 騰落寄与度の「その他」には「麦」、「雑穀」、「豆」、「いも」、「工芸農作物」及び「稲わら」が含まれる。

ア 米

米は98.8で、前年に比べて12.4%低下した。これは、うるち玄米の価格が低下したこと等による。

イ 野菜

野菜は97.8で、前年に比べて0.9%低下した。これは、トマト、ピーマン等の果菜類の価格が低下したこと等による。

ウ 果実

果実は93.3で、前年に比べて1.5%低下した。これは、みかんの価格が低下したこと等による。

エ 畜産物

畜産物は118.4で、前年に比べて9.9%上昇した。これは、肉畜、生乳の価格が上昇したこと等による。

表2 農産物類別価格指数

		平成22年=100									
類 別	ウエイト	価格指数		対前年騰落率		寄与度					
		平成25年	26	平成25年	26	平成25年	26	平成25年	26		
				%	%	%	%				
農産物（総合）	10,000	102.8	102.2	1.0	△	0.6	0.98	△	0.58		
米	2,247	112.8	98.8	1.5	△	12.4	0.38	△	3.06		
麦	90	65.3	65.9	△	10.7	0.9	△	0.07	0.01		
雑穀	11	51.9	69.4	△	4.6	33.7	0.00		0.02		
豆	90	94.6	117.9		3.3	24.6	0.03		0.20		
いも	259	78.7	83.7	△	1.9	6.4	△	0.04	0.13		
野菜	2,700	98.7	97.8	△	0.3	△	0.9	△	0.08	△	0.24
果菜	1,169	104.1	101.2	△	0.6	△	2.8	△	0.07	△	0.33
葉茎菜	1,099	91.8	92.4	△	0.8		0.7	△	0.08		0.06
根菜	316	101.9	102.2		1.9		0.3		0.06		0.01
まめ科野菜	116	101.9	101.5		1.7	△	0.4		0.02		0.00
果実	1,256	94.7	93.3	△	7.9	△	1.5	△	1.00	△	0.17
工芸農作物	392	106.1	107.0		4.4		0.8		0.17		0.03
花き	501	95.8	95.2	△	1.0	△	0.6	△	0.05	△	0.03
畜産物	2,449	107.7	118.4		6.7		9.9		1.64		2.55
鶏卵	118	106.7	119.0		11.5		11.5		0.13		0.14
生乳	1,115	103.2	108.8		0.7		5.4		0.08		0.61
肉畜	847	106.9	121.4		9.3		13.6		0.76		1.19
子畜	325	124.6	140.5		17.1		12.8		0.58		0.50
成畜	44	114.5	136.0		21.0		18.8		0.09		0.09
稲わら	5	106.3	113.9		1.9		7.1		0.00		0.00

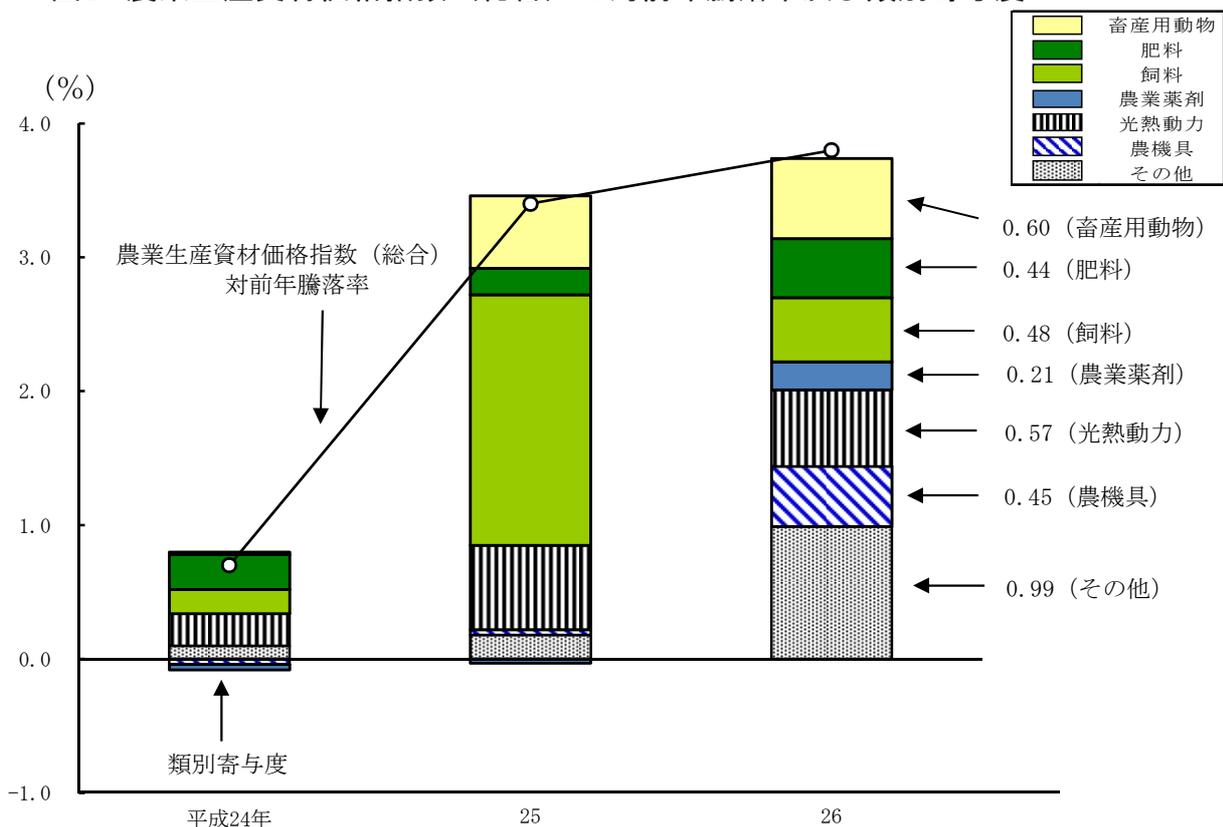
注： 寄与度は、農産物価格指数（総合）の対前年騰落率に対して、各類別指数の変化がどの程度影響しているかを示す指標である。

3 農業生産資材価格指数

平成26年の農業生産資材価格指数（総合）は110.4となり、前年に比べて3.8%上昇した。

これは、畜産用動物、光熱動力等の価格が上昇したことによる。

図3 農業生産資材価格指数（総合）の対前年騰落率及び類別寄与度



注：1 類別寄与度とは、農業生産資材価格指数（総合）の対前年騰落率に対して、各類別指数の変化がどの程度影響しているかを示す指標である。
 2 騰落寄与度の「その他」には「種苗及び苗木」、「賃借料及び料金」、「建築資材」等が含まれる。

ア 畜産用動物

畜産用動物は129.7で、前年に比べて12.5%上昇した。これは、肉用子牛の価格が上昇したこと等による。

イ 飼料

飼料は122.8で、前年に比べて2.5%上昇した。これは、配合飼料の価格が上昇したこと等による。

ウ 光熱動力

光熱動力は126.5で、前年に比べて5.4%上昇した。これは、重油の価格が上昇したこと等による。

表3 農業生産資材類別価格指数

平成22年=100

類 別	ウエイト	価格指数		対前年騰落率		寄与度	
		平成25年	26	平成25年	26	平成25年	26
				%	%	%	%
農業生産資材（総合）	10,000	106.4	110.4	3.4	3.8	3.40	3.76
種苗及び苗木	525	101.3	106.6	0.9	5.2	0.05	0.26
畜産用動物	440	115.3	129.7	12.3	12.5	0.54	0.60
肥料	1,070	103.6	108.0	1.9	4.2	0.20	0.44
飼料	1,701	119.8	122.8	10.4	2.5	1.87	0.48
農業薬剤	887	98.9	101.4	△ 0.4	2.5	△ 0.03	0.21
諸材料	378	101.6	103.9	0.4	2.3	0.01	0.08
光熱動力	928	120.0	126.5	6.2	5.4	0.63	0.57
農機具	2,072	99.3	101.6	0.2	2.3	0.04	0.45
自動車・同関係料金	578	100.8	103.8	0.2	3.0	0.01	0.16
建築資材	392	104.2	111.2	1.4	6.7	0.05	0.26
農用被服	32	102.5	107.1	0.1	4.5	0.00	0.01
賃借料及び料金	997	100.3	102.7	0.6	2.4	0.06	0.22

注： 寄与度は、農業生産資材価格指数（総合）の対前年騰落率に対して、各類別指数の変化がどの程度影響しているかを示す指標である。